

令和7年第12回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和7年12月18日（木曜日） 午後1時41分から午後3時55分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	島津芳久（教育長）・山川治美・島村由起男・馬場優子・谷本和歌子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 森田敏夫・教育部参事 志村憲一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭 ・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 清水寿
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第35号・議案第36号

議題及び決定事項等

議案第35号 日高市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部を改正する規則

【原案どおり可決】

議案第36号 日高市立小学校、中学校及び義務教育学校職員服務規程の一部を改正する訓令

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 小学校異動意向者数について38名とあるが、例年と比較すると多い人数か。

(学校教育課長) 一定期間同一校に在籍すると他校に異動するというのが基本となっており、条件に該当する教職員は意向を示さなければならないこととなる。このことを含めた人数である。

- (委員) 日高市への転入意向者数として、小学校239名、中学校171名とあるが、この人数についての見解は。
- (学校教育課長) 他市の状況と比較すると非常に多いと思われる。
- (委員) 市外から転入する教職員について、どちらからの転入が多いか。
- (教育部参事) 入間市、所沢市、狭山市などからの転入が多い。
- (委員) 過員欠員状況について、小学校8名、中学校7名が不足とあるが、影響はないか。
- (学校教育課長) 少なからず影響はある。基本的にはこの不足人数に対して初任者を配置し、充足を図るよう要求している。
- (教育長) 資料にある不足人数は定数のことであり、過去においても不足の状態が続いている。
- (委員) 武蔵台小中学校で胃腸炎による学校閉鎖とあったが、消毒作業で使用した薬品は。
- (教育部参事) 塩素系の薬品(次亜塩素酸ナトリウム)である。
- (委員) 生涯学習センター西側に計画している新設道路について伺いたい。
- (教育部長) 概略としては、県道川越日高線から生涯学習センターへの進入路を延長して高麗川駅東口通線に接道させるイメージである。健診車両の待機場所も確保するため、進入路から北側はS字のような形になる予定である。担当課により警察との協議も並行して進めているようである。
- (委員) 敷地も限られており、施設を利用する歩行者との交通事故の発生が心配である。利用形態や安全対策を含め検討を重ねていただきたい。
- (委員) 一般質問にあった「中学生の居場所確保と学びの継続支援」について、公民館や生涯学習センターの利用頻度はいかがか。
- (教育部長) 統計的な数字として管理はしていないが、公民館はそれほど多くの利用はなく、生涯学習センターは一定の利用頻度があるものと認識している。
- (教育長) 長期休暇中は(生涯学習センターに)もう一部屋学習スペースを設けている。
- (生涯学習課長) 高萩公民館では、入口入って右側に机と椅子を用意し、勉強などで使用できるスペースを設けている。
- (委員) 同じく一般質問の集団宿泊的行事について、再度伺いたい。
- (教育部参事) 質問の趣旨としては、子どもの人権教育や平和教育に関する行き先を検討できないかというものであった。
- (委員) 同じく一般質問の北朝鮮による日本人拉致問題について、学校では拉致問題に関する授業を行っているのか。
- (教育部参事) 社会の授業において、国際社会における北朝鮮による日本人拉致問題として取り扱っている。拉致問題について正しく理解したうえで、政府拉致問題対策本部作成の「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」」の視聴を行っている。
- (委員) 管理職選考について、選考のポイントは。
- (教育部参事) 面接や論文、討論などを行い、どの項目も基準を満たして総合的に評価できる人が合格者となる仕組みとなっている。

- (委員) 新年度の予算編成について、教育委員会として特別な事業等はあるのか。
- (教育部長) 現在も予算編成中であるが、教育総務課であれば学校施設の長寿命化を図る工事費や給食センターの適切な維持管理に係る費用の予算を要求している。学校教育課や生涯学習課では、部活動の地域展開に伴う案件が重点的な事業である。
- (委員) 「株式会社ミヤザキ」様からの寄附金で購入した電子黒板について再度伺いたい。
- (学校教育課長) 各学校の各フロアに1台設置した。使用例としては、子どもたちがタブレット端末に入力した自分の考えや答えなどを電子黒板に写し、教室全体でその情報を共有するような方法である。
- (委員) 西部地区地域学校協働活動実践発表会について、再度伺いたい。
- (教育長) 日高市で行っている各学校と地区による取組(学校長と公民館長による教育委員会会議での報告等)について、西部教育事務所管内の自治体に対して事例発表を行った。他自治体ではなかなか事業が進んでいないようであり、日高市の取組は進んでいるという感想をいただいた。
- (委員) 教育長研究協議会について、埼玉県学力・学習状況調査の結果は他県などと比較してどのような位置付けか。
- (教育長) 資料によると、全国平均よりは少し高い地点に位置し、県内各自治体で取り組んだ成果が出ているようである。以前は日高市と同程度の結果であった自治体が、現在は県内の上位に位置するような事例もある。その要因を研究し、可能なものは取り入れるなど日高市のレベルアップに繋げていきたい。
- (委員) 同じく教育長研究協議会について、越谷市の学校における働き方改革の取組について事例発表があったようだが、何か特徴的なものがあったのか。
- (学校教育課長) 令和4、5年度にコンサルタント事業者の支援(国の財源を活用した事業による支援)を受けて働き方改革に取り組んでいる。勤務時間後の電話を留守番電話対応とすることがあるが、少し早い時間に設定する取組や、学期末の繁忙期における成績処理を担当が中心ではなく主幹教諭が中心となりチームで事務処理を進める取組、テストのデジタル採点などについての発表であった。
- (委員) 当初人事の関係で一般退職が7名ということで多く感じるがいかがか。
- (学校教育課長) 個人や家庭の事情によるものと、他県や県立学校に移ることが理由として挙げられている。
- (教育部参事) 60歳で退職する場合も一般退職に含まれる。
- (委員) 他の委員からも発言があったが、過員欠員状況について、小学校8名、中学校7名で人数が多いと感じた。
- (学校教育課長) 定数に対する人数であるが、初任者の配置要望や臨時職員の配置により対応している。
- (委員) 一般質問の「子どもの権利条例における教育の目的に照らした行事内容の検討」について、再度伺いたい。
- (教育部参事) 子どもの権利を主眼にインバウンドや物価高騰の視点からも課題点を認知しつつ、学びの方法やフィールド、社会課題の解決につながるような集団宿泊的行事の再構築を考える段階にあるのではないかとということで、広島市平和記念式典児童派遣事業に関係するような平和教育、環境教育、社会課題と自分をつなげる

学びがなされることが望ましいという観点から、教育の目的に照らした行事内容であるか等についての質問であった。

(委員) インフルエンザ等による学級閉鎖時において、習い事に通う子どもは学校と同じように参加を見合わせた方が良いというような決まりはあるのか。

(教育長) 「お願い」というレベルであるが、「自宅で過ごしてください」という内容で連絡している。

(委員) 各家庭による判断で適切に対応することが大切だと考える。

(委員) 令和9年度の高校入試について、中学校の先生が内容を把握していないと問合せしても答えが返ってこないことがある。保護者としては答えがもらえないと不安にもなるので、情報の共有はしっかり行っていただきたい。

(委員) 教職員の不足について、小学校8名、中学校7名という数字は多いと感じている。市のSNSで教職員の募集が通知されることがあるが、急を要する案件ということか。

(教育長) 県から定期的に募集事務を依頼されるため、それに伴い対応している。

(委員) 募集の効果はあるか。

(教育長) 募集をきっかけに応募される方は一定数ある。

(委員) 部活動の地域展開について、外部の団体に所属して活動している場合、3年生の最後の公式戦が11月頃に行われることがある。市外の子どものたちの状況を聞いても同じような状態であり、学力レベルの向上に繋がる対応は難しいように感じる。日高市と同程度の学力レベルだった自治体が上位になっているようだが、その要因は非常に気になる。

(教育長) 学校の部活動であれば、テスト前は活動休止、引退時期は遅くても夏休み頃というようにある程度コントロールされているが、外部団体の活動ではそのようなコントロールがなされていない場合もある。その先にある入試のことを考えると、各家庭でどのように考えるかというところが重要になると思われる。

(委員) 今後の部活動の地域展開においては、外部団体の活動状況等について学校から事前に情報を提供していただくと検討材料にもなるので、検討いただきたい。

(委員) 国が進めるタブレット端末の使用(GIGAスクール構想)について、子どもたちの観点から考えると、全てにおいてプラスになっているか個人的に疑問がある。海外では、デジタル化からの方向転換やSNSの使用を制限するといった国もあるため、検討が必要と思われる。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

##### 議案第35号、議案第36号(一括協議)

(委員) 県立学校のフレックスタイム制導入に伴う規則等の改正ということは理解するが、その取扱いについては難しい部分も見込まれるため、慎重に対応されたい。

#### 5) その他

##### (1) 次回定例会の日程等について

○1月定例会：1月22日(木曜日)午後1時40分から 委員了承

○2月定例会：2月18日(水曜日)午後1時40分から 委員了承